

園ふあん

2017年
12月11日
No.449
月曜日送信

ようちえん川柳 これまでにあんふあんで募集した先生部門の応募作品より
気合い入れ たまにはいいね
評価され
ペンネーム●たいママ

今年最後の園ふあんです。一年間ありがとうございました。
次回450号の配信は、1月15日(月)です。

幼稚園が「ようちえん」になっていく

子どもたちの大好きなクリスマスツリーや、華やかなイルミネーションが輝くこの時期。園ふあんも今年最後の号となりました。新しい年を迎える準備に、慌ただしくなってきました。今回の園ふあんは、幼稚園の表記についてです。
(文：幼稚園情報センター・片岡進さん/ウェブマガジン「月刊・私立幼稚園」編集長)

☆選抜高校野球も「センバツ」に

幼稚園の先生にも高校野球のファンは多いと思います。甲子園に出かけて日がな一日観戦する人もいるでしょう。私もその一人で、春か夏のどちらか、甲子園のネット裏に座ることを30年近く続けています。春は「選抜」、夏は「全国選手権」。選抜とは、秋の地区大会の成績をもとに専門家が出場校を選ぶからです。今年、その選抜大会で気づいたことがあります。阪神梅田駅の改札口の看板が「センバツ高等学校野球大会」となっていたことです。球場の看板も、NHKのホームページも、選抜ではなく「センバツ」でした。出かけるたびにあちこちデジカメ写真を撮るので、パソコン内の画像を調べてみると、2003年時点ですでにセンバツでした。それより早く「上から目線の意味合いを感じさせる漢字の選抜より、センバツの方が良い」と大会関係者が判断したのだと思います。それも、平仮名よりカタカナの方が高校野球のイメージに合うと考えたのでしょう。

☆耳に馴染んだ「ようちえん」

どうして今さらこんなことが気になったかと言うと、最近、幼稚園を「ようちえん」と表記する幼稚園が増えているからです。

園内の看板や壁面飾りで、園名がすべて平仮名であることは、かなり以前から見られました。園児にも読めるようにとの配慮です。そんな幼稚園も、大人が読む案内パンフなどは漢字でした。それが最近では、案内看板、各種印刷物、封筒、ホームページ、園バス、ゴム印……など、あらゆるものを「ようちえん」で統一する園が少なくありません。業者関係からの請求書も、宛名が平仮名でないと受け付けないと徹底する園もあります。もちろん認可登録は漢字なので、政治家の選挙ポスターと同じような便宜的使い方と言えます。

最初は私も「表意文字の漢字を大事にするのが日本語なの

に、どうして?」と強い違和感を感じました。「まさか都道府県や文科省は平仮名を認めないだろう」とも思いました。ところが文科省広報誌の記事でも、市町村のホームページでも、平仮名で園名を表記している園は、そのまま平仮名にしているのです。○○幼稚園という場合、○○の部分には地名や意味のある言葉であることが多く、ここは漢字を残して幼稚園だけ平仮名にする場合もあれば、すべて平仮名にする場合もあります。そんな事例を数多く見ているうち、私の中から違和感が消え、逆に「幼稚園はやがて、みんな『ようちえん』になるかも知れない」と思うようになりました。

☆「幼稚」には深い意味合いがある

保育所は認定こども園に移行すると「こども園」に改名することが多いのですが、幼稚園は認定こども園に移行しても、名前は幼稚園のままということが多く見られます。長く親しまれた幼稚園という言葉と音(おん)への愛着なのでしょう。したがって、いずれ世の中は「こども園か幼稚園か」という時代になると思います。そのうえで、30年、50年先の将来を考えると、「幼稚園」の漢字看板を背負ったままでは、それが弱味になる心配があります。こども園の方がわかりやすいからです。

キンダーガーデンを素直に日本語にすれば、幼児園かこども園です。ところが明治の教育者は一ひねりを入れて幼稚園としました。幼稚という言葉には「瑞々しい若さ」「失敗を恐れぬ行動力」という意味があったからです。でも今は、幼稚という字を見て、そんな意味合いを感じる人はめったにいません。しかし140年の歴史を経て、「ようちえん」の音は耳に馴染んでいます。それを聞いて「幼稚なところ」と思う人は少ないでしょう。逆に「一番大事な人間の基礎教育を行っているところ」と思う人の方が多いはず。それなら、眼に誤解を与えかねない漢字をやめて平仮名にしよう、と考えるのは自然の流れです。こども園に対して「ようちえん」なら、遠い将来まで十分に張り合っていけるとも思います。

情報大募集 園ふあんへのご意見・ご感想をお寄せください。▶ファクス03(5216)9266

サンケイリビング新聞社が主体となり、園ふあん読者の先生方からお預かりした個人情報は、当社が責任を持って管理し、プレゼントの発送、園ふあんの記事作成のみに利用します。
(個人情報保護に関するお問い合わせ)個人情報保護推進事務局 ☎03-5216-9191(祝日を除く月曜～金曜午前10時～午後5時)
当社の個人情報保護に関しては <http://www.sankeiliving.co.jp/profile/privacy.html> をご覧ください。